

このレターは、当協会にご縁を頂いている経営者の皆様にお届けしています。

答えのない21世紀で奮闘されている経営者の皆様へ

最終号です。8年間本当にありがとうございました。

Vol. 96

2025.03.01

U 協 近 畿 通 心

～U協を使い倒しましょう～

公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会
近 畿 事 業 推 進 部

近畿事業推進部の川畑です。私が書くU協近畿通心、いよいよ最終号となりました。継続については後任に任せることにしました。8年間全96号をお読みいただき、本当にありがとうございました。今読み返してみると、創刊号はたどたどしいものでしたが、皆さまに支えられて何とかここまで来ることができました。心からお礼申し上げます。最終号は、書きたいことがたくさんあり、全てお伝え出来ないのが残念ですが、最後の「U協近畿通心」を愉しんでいただけると嬉しいです。

さて、アメリカ株の大暴落、日本株の大暴落が起きました。アメリカ大統領トランプさんの言動を見ていると怖くなってきます。自国を大事にするのは良いことですが、世界のリーダーアメリカ、民主主義はいったいどこへ消えてしまったのか、私はそんな感じがしています。AIの時代、世界はどこへ向かえばいいのか、国連、EU、アメリカ、アジア、日本のリーダーにはそんな議論をして欲しいです。

希望のある世界の将来のために。

この時期、伊佐は氷点下の朝が続きます。霜柱も毎日。日中は気温が上がって暖かいのですが、朝晩は冷え込みます。時々雪も積もります。鹿児島県の北海道と言われる所以です。

先月植えたじゃがいもとほうれん草が芽を出し始めました。芽が土を持ち上げるところは、いつ見ても元気をもらえます。生きてるって感じなんです。白菜はもう終わりで、残りを収穫して妻が漬物にしました。土中に残っていたじゃがいも(アンデス)も最後の収穫をしました。あとはキャベツが残っています。

畑にある大きなバショウの木を伐採しました。兄が昔、バナナと聞いて植えたのですが、バナナみたいな実はつくものの、なかなか大きくなり、よく調べたらバショウでした。よくバナナと間違えられるようです。葉は枯れていましたが、伐採すると幹はみずみずしくてまだ元気でした。この幹がどれくらいで土に還るのか見てみたいと思います。後には果樹を植えようと思いを巡らせています。孫と一緒に収穫する楽しいことも考えて、レモン、みかん、ブルーベリー、柿、葡萄などがいいかな。

後任の人事異動次第ではありますが、5月からしばらくは晴耕雨読なんて、思っています。そして地域のICT化や、これまで自分が経験してきたこと、人脈、情報が地域の役に立つような活動も考えています。

講演などに呼んでいただければいつでも参上いたしますので、その際には私を思い出してください。

最後に私の好きな高杉晋作の辞世の句をご紹介します。中学校の頃、この句と出会ってそれ以来、かかりたいと私の生きる指針になっています。後年、妻もこの句が好きだと知りました。縁ですね。

「おもしろき こともなき世をおもしろく 住みなすものは 心なりけり」



庭に雪が積もりました。
鹿児島県の北海道と言われ
る伊佐はこんな感じです。
雪景色もいいでしょう。

【ICT用語豆知識 「ダークパターン」ってご存じでしょうか】

情報セキュリティの話です。**ダークパターン**とは、**ユーザーに気づかれないように、あるいは意図的に誤解を招くようなデザインを施すことで、ユーザーを望ましくない方向へと誘導する手法**のことです。

具体的には、選択肢を不明瞭にしたり、キャンセルボタンを見つけにくくしたり、あるいは必要以上の個人情報要求をしたりするなど、さまざまな形で存在します。日本ではECサイトなど6割以上のサイトでダークパターンが確認されています。騙されないように気をつけてください。代表的な7つの手法です。

- Sneaking(こっそり)** : ユーザーの同意なしに別の商品が紛れ込んでいたり、無料の試供品と見せかけて実は定期契約であることを隠したりする手法
- Urgency(緊急)** : 事実と異なる期間を設定してユーザーに購入の意思決定を焦らせる手法
- Misdirection(誘導)** : 文章やデザイン、感情などを利用してユーザーに特定の選択肢を選ばせたり、選ばせないようにしたりする手法
- Social proof(社会的証明)** : 他人の行動を根拠として商品に人気があるように見せかけて、ユーザーの購入意思決定に影響を与える手法
- Scarcity(希少性)** : 商品の希少性をアピールし、ユーザーに購入を急がせる手法
- Obstruction(障害物)** : 登録解除やキャンセルなどの行動を取りたい場合に、過度な障害を設けてユーザーが希望する行動を取らせない手法
- Forced Action(強制)** : ユーザーが希望の行動を行うために関係のない行為をユーザーに強要する手法

前回は、第125回「自分を売る」(2024.10.15)をご紹介しました。

今回は、第126回「**上手でなくてもよい**」(2024.11.18)をご紹介します。

電話対応は、「上手でなくてもよい」と言いますと、たちまちお叱りを受けそうですが、実は、今回は10月号の「変わらなければならないもの」の続きなのです。**電話対応教育は変わらなければならない**、私はずっと思い続けてきました。それは通信技術の劇的な進歩と、電話メディアの主要ツールとして、コミュニケーションを支えてきた「日本語力」の衰退です。どちらも簡単に解決がつくというものではありませんが、身近なことから一緒に考えましょう。

発展する対話型AI

まず気になりますのが、対話型AIの存在です。ここ数年で、AIはあらゆる分野に浸透しています。さらに汎用性を持ったAGI ※1 が登場し、10年後には、人間の知能を超えたASI ※2 と呼ばれる〈人工超知能〉の時代が来ると言われています。私には想像もできない時代の到来です。それに加えて、オンラインの普及により、対面で人が接する場面が急速に減少しています。一方で、野放図が増えていくのは、言葉の拡散です。専門語、IT語、外来語、カタカナ語、それにアニメなどの影響を受けた造語も増えています。その傾向は、豊かに受け継がれてきた日本語そのものの衰退につながっていきます。言葉が通じなくなれば人のつながりもなくなり、国は滅びます。そこまで考えますと極めて悲観的になりますが、音声でつながる電話は、言葉を取り戻す身近で貴重なツールとして、まだまだ健在です。**対話力も説明力も聴く力も、電話によって鍛えられます**。電話対応技能検定の初代委員長で、元名古屋外国語大学学長であった水谷 修さんは、「**言葉力を鍛える手段として、もしも検定に勝るものはない**」と断言されました。いずれにしても、これから先、コミュニケーションにAIが大きく関与してくることは間違いないでしょう。私たちはそこで、何をすればよいか。何ができるかです。

令和の電話対応者に期待する

日本での電話交換手の歴史は1890年と聞いています。爾来（じらい）※3 134年になります。それ以来、電電公社、NTT、そしてユーザーである各企業の歴史の中で、親切、丁寧、正確、迅速を目指して、きれいで上手な電話対応のスキルは磨かれ守られてきました。そのスキルは、今、AIオペレーターにまで引き継がれているのです。先ごろ行われたユーザ協会主催の「全国電話対応コンクール（以下、コンクール）」などは、その努力の集大成だと思います。

私がコンクールに関わりを持ち始めたのは昭和50年代からです。そのシンプルな教育イベントにとっても興味を持ちました。言葉の大切さをその都度考えさせられました。しかしここに来て、コンクール調とまで言われる今の対応に疑問を感じ始めています。上手過ぎるのです。課題が発表されてから半年かけて磨いてきたその対応は、完璧な言葉づかい、課題のねらいに応えた見事な構成、無駄のない文言、心地良いきれいなトーク。つまり、完璧を目指した上手な対応が揃うのです。

各県の代表が集まる全国大会ともなりますと、審査員も大変です。私もかつて全国審査を担当したことがありました。ほとんど差のない60数人の対応を、1回聴いただけの短い時間で採点するのは本当に疲れました。

お客さまに喜ばれる対応とは

電話対応って、もっと自然で良いのではないだろうか。言い間違えても、多少言葉づかいが違って、時に忘れて言い淀んだり絶句しても、方言が出ても、**そのリカバリーさえきちんとできれば良いのではないか。**つまりもっと自然で良いのではないのでしょうか。最近増えた無機質なAIの対応や喋りを聞く度に、音ではない人間の温かい声を聴きたいとつくづく思うのです。お客さまも完璧な敬語や美しい話し方を期待しているわけではないと思います。また**この人と話したいと思っていただけの対応こそ、理想の対応だ**と私は思っています。

「親切、丁寧、正確、迅速」という昭和、平成の「上手な電話対応」は、一つの時代を作りました。しかしAIが主導するであろうこれからの令和の電話対応は、**AIにはできない人間の対応を目指すべきだ**と思います。例えば、「正確さ、分りやすさ、誠実さ、温かさ」など、情の伝わる言葉で、また別の「上手な対応」を作ってください。

以前にも触れたことがある、文楽の人間国宝、七代目 竹本 住太夫の言葉「**上手にやろうと思うな！上手にやろうとして上手にできたためしはない**」。好きな言葉です。

※1 AGI（汎用人工知能）：人間のような汎用的な知能を持つ人工知能

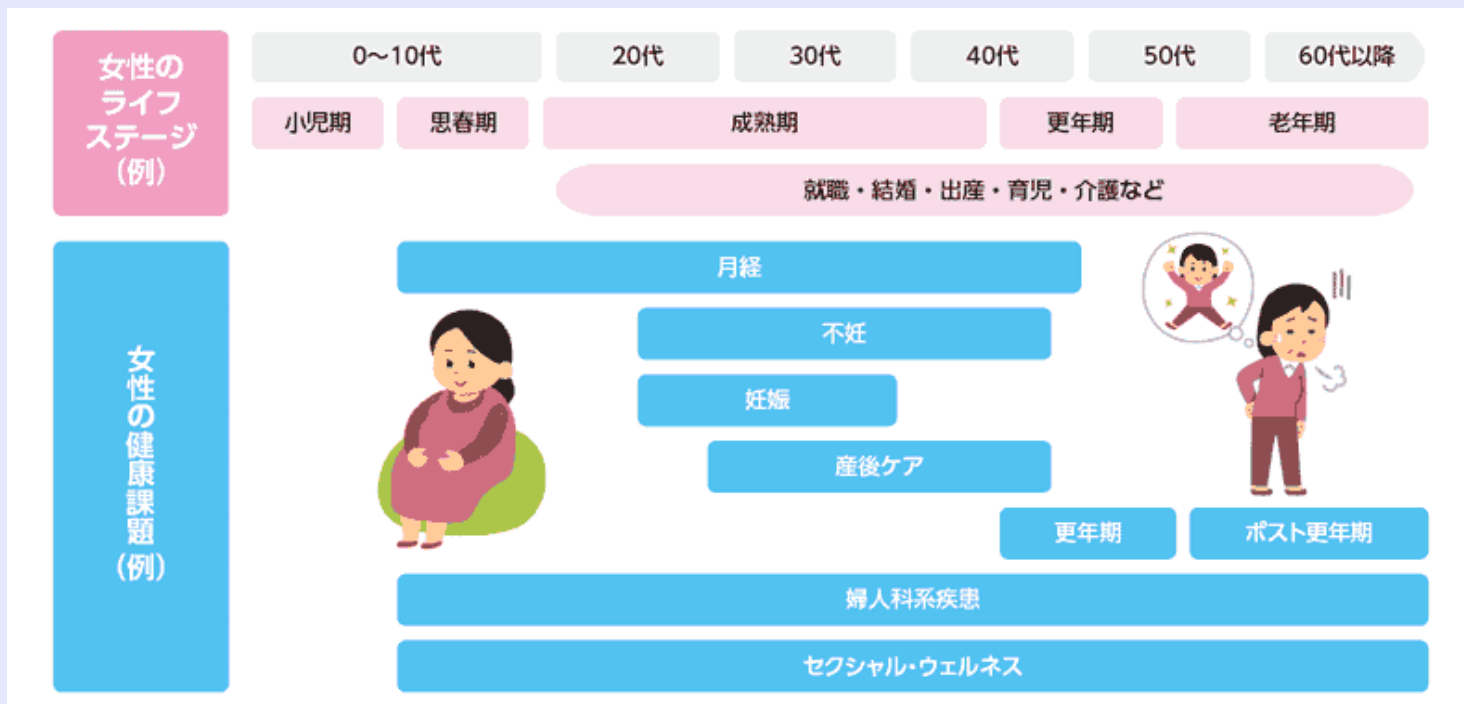
※2 ASI（人工超知能）：AGIがさらに進化したもので、人間の知能をはるかに超えた人工知能

※3 爾来：その後、それ以降

【ユーザ協会の得意技！ こういう蓄積・ノウハウがあります。 「フェムテックで進める女性の働き方改革」(1/2)】

女性の健康課題をサポートし、働きやすい職場環境をつくるために、企業によるフェムテック導入が進んでいます。3回連載の2回目は、ICTを活用したフェムテック商品やサービスの具体例を中心に、企業が取り組むべき理由や導入事例を紹介します。

女性をサポートするフェムテックの多彩な商品やサービス



図：女性のライフステージと健康課題の例

女性のライフステージごとの健康課題には、月経、不妊、妊娠、出産・育児（産後ケア）、婦人科系疾患、セクシャル・ウェルネス ※1、更年期など、さまざまな領域があります（図参照）。こうした領域ごとにジャンルやカテゴリを整理することで、企業が入りやすいフェムテックの商品やサービスが理解しやすくなります。

例えば、経済産業省はフェムテック企業と導入企業（女性を雇用する企業）、自治体、医療機関などが連携し、働く女性の健康の悩みなどを解消するため、地域の実情やニーズに応じた形で、フェムテックを活用したサポートサービスを届ける実証事業「フェムテック等サポートサービス実証事業」を行っています。同実証事業ではさまざまな領域の商品やサービスが採択されており、単に女性のQOL ※2（クオリティ・オブ・ライフ）向上を目指すだけでなく、職場での生産性や業務効率を高めるサポートツールとしても評価されています。

フェムテックは、単なるツール提供だけではなく、女性が自分の体の声に耳を傾け、健康を守るために行動を起こす手段を提供します。

ICTを活用したフェムテック

ICTを活用した代表的なフェムテック商品・サービスの一つが、オンライン診療やチャット相談です。これらのサービスは、短時間で気軽に利用できることに加えて、地理的制約を受けにくく、プライバシーが保たれやすいというメリットがあります。

特に全国展開する企業や地方に支店を持つ企業での導入が進んでおり、**従業員の健康維持に大きく貢献**しています。例えば、産婦人科の受診は半日がかかりになることが多い中、オンライン診療の導入により、女性社員が通院にかかる時間を大幅に短縮できます。

また、メンタルケアを目的としたチャットサービスや、メンタルケアにも寄与する1on1の相談ツールも、フェムテックの例として挙げられます。メンタルヘルスは健康経営の観点からも重視される分野であり、特に更年期やメンタル面の課題を抱える女性にとって、アプリやチャットでの相談などは、大きな支えとなります。

このほか、スマホアプリを活用した健康管理ツールも、フェムテックの重要なサービスの一つです。代表的なものは、生理周期管理・妊活サポート・更年期症状管理アプリなどです。これらのアプリは、**女性が自身の健康状態を把握し、必要に応じたケアを積極的に行う意識を高めるのに役立っています。**

最新のAI技術を活用したアプリでは、入力されたデータを分析し、個々のユーザーに合わせた健康アドバイスを提供する機能も備えています。例えば、生理に関する悩みをAIチャットボットで相談できたり、生理周期の傾向や分析をAIが行い、妊活タイミングも教えてくれるアプリが好評です。

女性が働きやすい環境づくりに役立つフェムテック

女性が安心して活躍できる職場環境づくりににおいても、フェムテックは重要な役割を果たしています。**福利厚生として導入されるフェムテック商品やサービスは、健康管理や予防ケアにとどまらず、職場の働きやすさや生産性の向上にもつながります。**

例えば、企業内の女性社員専用オンラインコミュニティも、ICTを活用したフェムテックサービスの一例です。このプラットフォームでは、同じ職場環境の中で共有しづらい悩みや実情を話し合える場が提供されています。「職場に生理休暇制度があっても実際には休みを取りづらい、言い出しにくい」といった声が共有されることで、企業側も社員が抱える課題を把握しやすくなり、改善のヒントを得るきっかけにもなります。

このほか、IoT対応の生理用品ディスペンサー ※3の設置により、急な体調変化にも対応できる環境を提供し、女性社員が安心して働ける職場づくりをサポートする企業もあります。このようなフェムテックの取り組みは、職場全体のウェルビーイング ※4を向上させ、従業員がより快適に働ける環境づくりに役立つでしょう。

中小企業のフェムテック導入事例

フェムテックの導入は、大企業だけではありません。中小企業の中には、従業員の健康維持と働きやすい職場環境づくりに注力しているところもあります。

ICT関連の取り組みからは外れてしまいましたが、例えば、福井県の平田不動産は、社員の生理痛や月経に対する理解を深め、より働きやすい環境を提供するための生理休暇制度や低用量ピル補助などの導入を行っています。この結果、社員のモチベーションが向上し、就職フェアでも注目を集めるなど、社内外での評価も高まったとのこと。

また、オフィス用品総合商社のオカモトヤでは、女性向け防災キットの導入を通じて、非常時にも女性社員が安心して過ごせる環境づくりに貢献しています。ナプキンやデリケートゾーン用シートを含んだ防災キットは、企業が取り入れやすい商品であり、災害時に女性特有のニーズに応える重要な施策として注目されています。

こうした中小企業の事例は、他社にとっても参考になる取り組みでもあり、職場全体の働きやすさと従業員の健康意識を高める有効な手段となるでしょう。

※1 セクシャル・ウェルネス：セクシュアリティ（性）に対して身体的、感情的、精神的、社会的にも健康な状態であること。
※2 QOL（Quality of Life）：「人生の質」、「生活の質」などと訳されることが多く、私たちが生きる上での満足度を表す指標の一つ。

※3 生理用品ディスペンサー：緊急時などに生理用ナプキンやタンポンを簡単に取り出せるよう設置された機器や装置のこと。
※4 ウェルビーイング：well(良い)とbeing(状態)からなる、個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。

【お役立ち情報：2/12（水）全国参加型ICT講座を開催しました。1/2】

【オンライン開催】組織で働く皆様必見！

2025サイバーセキュリティ対策講座【第1弾】

皆様の職場が狙われています！今すぐ適切な対策を！

ラッシュアップしてきた人気講座です。今は年3回実施しています。今回は2025年の第1弾で、1部は「**サイバー空間をめぐる脅威の情勢、クラウドサービス利用時の対応**」を警視庁サイバーセキュリティ対策本部担当官から、2部は「**基本から再確認！今日から直ぐにできるサイバーセキュリティ対策の基礎知識**」を私が講演しました。

今回はその中からご紹介します。

2月12日、2025サイバーセキュリティ対策対策講座【第1弾】を開催しました。

この講座は2021年から始め、毎回ブ

【第1部】サイバー空間をめぐる脅威の情勢、クラウドサービス利用時の対応

○情報セキュリティの3要素 気密性 完全性 可用性

○資産を守り、事業継続のためにもサイバーセキュリティは大切

○被害額モデル サポート詐欺 100万円 ランサムウェア3億7千6百万円

○クレジットカード不正利用被害額 541億円

○インターネットバンキング不正送金被害額増加 87.3億円

○SNS型投資・ロマンス詐欺被害額1,141億円 9,265件

○2025年情報セキュリティ10大脅威1位はランサムウェアによる被害10年連続10回目

○ランサムウェア攻撃のターゲット

①攻撃対象に大企業・中小企業・公共団体等の規模や業種は関係ない。

②セキュリティの甘い、攻撃しやすい組織を片端から攻撃している。

○被害に遭う前の対策が重要

○ランサムウェアの被害防止対策 最新手口の情報収集・情報共有

①脆弱性管理 ②ID・パスワード管理 ③フィッシング対策

○バックアップは最後の砦

3つのコピー+2種類以上の媒体+1つはオフサイト+復元可否確認

○クラウドサービスの責任分界（所在）確認

利用者側責任（設定ミスが多い） 提供者側責任

○クラウドサービス設定ミス対策4つの視点

①組織・ルールの対策 ②人的対策 ③作業手順の整備 ④道具（ツール）の導入

○クラウドサービス利用者が違法の恐れあり（結果的に）

○中小企業によるクラウドサービス安全利用のための15条

I. 選定するときのポイント

- ① どの業務で利用するか明確にする
- ② クラウドサービスの種類を選ぶ
- ③ 取り扱う情報の重要度を確認する
- ④ 自社のセキュリティのルールと矛盾しない
- ⑤ クラウド事業者の信頼性を確認する
- ⑥ クラウドサービスの安全・信頼性を確認する

II. 運用するときのポイント

- ⑦ 管理担当者を決める
- ⑧ 利用者の範囲を決める
- ⑨ 利用者の認証を厳格に行う
- ⑩ バックアップに責任を持つ

III. セキュリティ管理のポイント

- ⑪ 付帯するセキュリティ対策を確認する
- ⑫ 利用者のサポート体制を確認する
- ⑬ 利用終了時のデータを確保する
- ⑭ 適用法令や契約条件を確認する
- ⑮ データ保存先の地理的所在地を確認する

○サイバー事案のに関する通報・相談・情報提供 まずは警察へ！



まずは管轄警察署へ通報！

【管轄警察署】

〇〇警察署

電話による相談はこちらまで！

【警視庁 サイバー犯罪対策課相談窓口】

電話：03-5805-1731

時間：午前8時30分から午後5時15分まで
（平日のみ）

インターネットによる
通報・相談も可能です

サイバー事案に関する通報・相談・情報提供窓口

警察庁において、サイバー事案に関する通報、相談及び情報提供の全国統一窓口を運用中！



【第2部】基本から再確認！今日から直ぐにできるサイバーセキュリティ対策の基礎知識

- 講座の目的
情報セキュリティ対策（サイバーセキュリティ対策を含む）の必要性を理解・再確認してもらい、「通常」と「いざという時」に適切な対応をとれるようになる。
情報セキュリティ> サイバーセキュリティ
- 情報資産とは、企業や組織が収集した「ヒト・モノ・カネ」に関する全ての情報
- 情報セキュリティ：正規のユーザがいつでも安全に情報を使える状態のこと
サイバーセキュリティとは、保有するデジタルデータやシステム類を盗難や破壊などのサイバー攻撃やその他の脅威から保護すること

○2025年IPA情報セキュリティ10大脅威（2025.1.30発表）

順位	「組織」向け脅威	初選出年	10大脅威での取り扱い (2016年以降)
1	ランサム攻撃による被害	2016年	10年連続10回目
2	サプライチェーンや委託先を狙った攻撃	2019年	7年連続7回目
3	システムの脆弱性を突いた攻撃	2016年	5年連続8回目
4	内部不正による情報漏えい等	2016年	10年連続10回目
5	機密情報等を狙った標的型攻撃	2016年	10年連続10回目

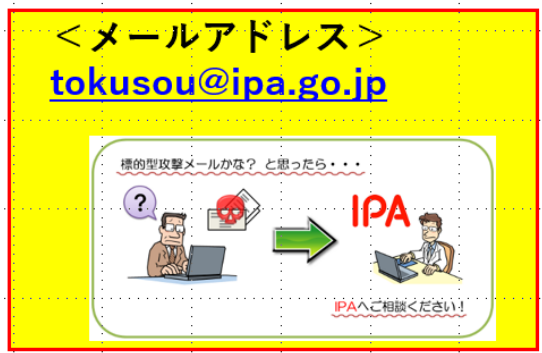
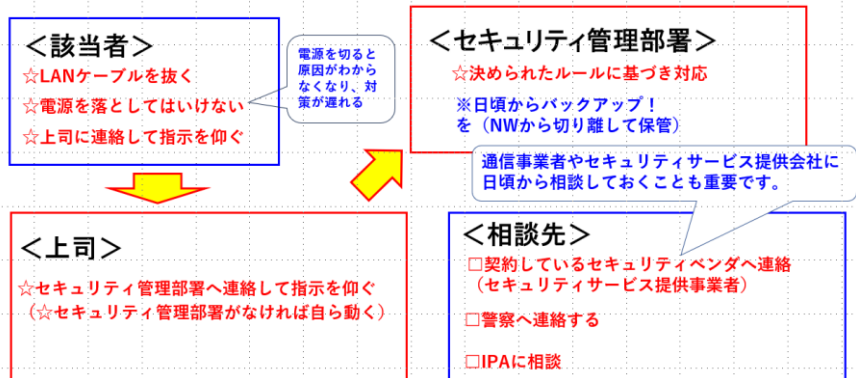
- インシデント発生要因
①社員への教育不足や意識の低さ ②システムの脆弱性 ③パートナー企業やサプライヤーのセキュリティ体制の不備 ④プライバシー保護の不十分な取り扱い ⑤インサイダー攻撃
- 直接被害と間接被害がありサイバー攻撃と受けると数百万～数千万以上お金がかかる
ランサムウェアで平均2,386万円 エモテットで平均1,030万円 情報漏えい平均3,843万円
- 攻撃の手口を知って対策しよう（攻撃例）
 - ・ランサムウェア ・標的型攻撃 ・ビジネスメール詐欺 ・DDoS攻撃 ・ソフトウェアの脆弱性を悪用した攻撃 ・ばらまき型メールによる攻撃 ・個人を狙うSMS、SNS、メールを悪用した手口
 - ・個人を狙う様々な騙しと悪用の手口 ・情報漏えいによる被害

○情報セキュリティ対策と融通性はトレードオフ
○クラウド利用時の情報セキュリティ対策は自分だけでは不十分 担当を要確認

- 自分、利用組織、クラウド提供事業者
- 情報セキュリティ対策には通常対策と有事対策がある
 - ・5分でできる情報セキュリティ自社診断をしましょう。次の青字下線をクリックするとリンク先へ
[5分でできる！自社診断 設問に回答 / IPA 独立行政法人 情報処理推進機構](#)
 - ・情報セキュリティ対策
 - ①安全なパスワード管理 ②ソフトウェア情報のセキュリティー対策 ③ウィルス対策
 - ④標的型攻撃メール対策 ⑤メール誤送信の脅威、対策 ⑥安全な無線LANの利用
 - ⑦SNS利用上の注意 ⑧クラウドサービス利用の注意点 ⑨情報漏えいした時の対応

○サイバー等攻撃を受けたらどうしたらいいの？

警察に合わせIPAにも相談できます。



○まとめ 情報セキュリティを担保するのは最後は「人」です。だからこのような定期的な研修(意識付け) がとても重要。次回【第2弾】は7月予定です。貴社でこの講座を活用してください。

【お役立ち情報：第4の波AI・スマホの本質をご紹介します。】

先月号「失われた35年」の中で今月紹介するとお伝えしました「新版第4の波AI・スマホの本質」をご紹介します。これからの日本、貴社を考える時に最終号でぜひお伝えしたかった内容です。



この第4の波を初めて聴いたのは2022.2.18向研会「大前流21世紀型・経済理論 第四の波に向けた国家戦略」でした。アルビン・トフラーさんが第3の波を1980年に出版されて読まれた方も多いのではないのでしょうか。私も20代の若かりし頃、読んでなるほどやはり情報革命だな、まさにNTTじゃないかと期待に胸を膨らませたことを覚えています。あれから42年、大前さんがアルビン・トフラーさんが生きていたら執筆されるであろうと考えて第4の波を提唱されました。トフラーさんと大前さんは、世界中の講演会で会われているうちに大変親しくなられ、その思考も同じだと意気投合されたそうです。

そんな親交もあり提唱された概念です。向研会講演後、2023年12月に「第4の波」は出版され、2024年12月に「新版第4の波AI・スマホ革命の本質」が出版されました。

これからの時代を行くうえでとても参考になる本だと私は考えますので、最後にご紹介したかったのです。第4の波とは、第1の波「**農業革命**」、第2の波「**産業革命**」、第3の波「**情報革命**」の次に到来している「**AI革命**」のことです。

今AIの急速な進化・深化でシンギュラリティが早まっている感がありますね。昨年あたりから、いろんな業界で生成AIを使って様々な事が簡単にできるようになっています。

生成AIは、ニュースや情報だけでなく、動画や画像の生成から、小説・詩・楽曲の創作までこなすようになってきており、その“進化”はもはや止められません。**こうした進化の先には、『第4の波』で大前氏が指摘した「大リストラ」が待っています。その中で、どう生き残っていけばいいのか、そんなことを考えるヒントが満載です。**

日本は第4の波に乗り遅れていると大前さんは言われています。ちょっときつくいうと第3の波も乗りこなせていないとも。この激変の中で生き残るのは、どのような人材なのか？ また、AIに置き換えられない仕事とは何か。“答えのない世紀”を生きるために、来たるべき近未来図を提示する「希望の書」ともいえます。教育が活きるのは20年後（今の中学生が活躍する30代）ですから、子供たちにこの話をぜひしてあげてください。

それが将来の日本の成長に活かされることを願っています。

<目次>

- 新版まえがき **AI時代にこそ求められる「質問する力」**
- プロローグ **未来予測は「希望」となる**
- 序章 **〈現状分析〉「第3の波」すら越えられない日本**
- 第1章 **「第4の波」とは何か —日本人が早急に知るべき世界の最新潮—**
 - ・基調セミナー **「第4の波」に向けた国家戦略**
- 第2章 **生き残りのカギは「スパイク型」 —自分の強みを尖らせろ—**
 - ・基調セミナー **自社の強みを徹底的に尖らせる経営戦略**
- エピローグ **今こそ子供に「スマホ構想力」を**

【編集後記：U協での9年間、本当にありがとうございました。】

2016年7月にNTT西日本からユーザ協会近畿事業推進部に再就職しました。その年の11月、大阪NHKホールで電話対応コンクール全国大会があり、当日まで関係者の皆様のご協力を得ながら突貫工事で準備を進め、無事大会を終えることができました。NHKホールの普通は入れない舞台裏も経験できました。その時は訳も分からず夢中でやっていましたが、今はいい思い出です。この9年間いろんなことがありました。これを書いているうちに、思い出が走馬灯のように浮かんできています。

ユーザ協会は「電話対応によるCS向上」「ICT活用推進」の2大事業を行っています。特に思い出深いのは、今の太前さんに学ぼうですね。2016年当時、近畿6支部でもICTセミナー、著名人セミナーをしていましたが、リアル開催は集客が少なかったのです。これではいけないと思い、どんなICTセミナーなら集客できそうなのか、集客方法も含め企画を練って、2017年に経営者研鑽会を開催しました。

当時、太前さんの経営塾を卒業してお手伝いもしていましたので、いいコンテンツ情報が入っていました。そこで、リアルに太前さん呼ぶと予算不足(1講演500万円位)なので、太前さんの講演映像2講演+ナビゲーション+交流会という建付けで実施することにしました。おかげ様で100名余りの方にご参加いただき、大好評でした。転換点は新型コロナでした。リアル開催が難しくなったので、オンラインにチャレンジしました。オンラインも、どうやれば安くたくさんの方に参加していただけるか、関係者と何回も議論を重ね、Zoom+YouTube LIVE配信という形を見出しました。東京、東海、近畿から始め、昨年から全国参加型ICTセミナーということで、7月と1月に実施しています。募集すると目標の1,000名はすぐ集まるようになり、今では申込だけで2,000名を超えるようになりました。流石に視聴は1,000名程度ではありますが、その集客力に共催関係者からも驚きの声が上がっています。

過去の太前さんに学ぼうを思い出してみました。数えてみると延べ15,400名余りの方にお申込みいただいていた。ありがたいことです。参加していただいた皆さんに感謝いたします。

<太前さんに学ぼうの足跡>

○2017年 8月

「IoTの要諦」「第4次産業革命にむけて～AI・IoTを使った既存産業の再構築によるビジネスチャンス～」

○2018年 2月

「生産性を高める経営～企業はいかに「稼ぐ力」を高めていけばよいのか～」

「AI SHIFT～AIシフトする産業と新しいビジネス～」

○2019年 3月

「日本の経営者の課題と対策～企業を取り巻く経営環境が激しく変化するなかで、いま日本の経営者はどうあるべきか～」

「世界のリカレント教育の動向と日本への提言～デジタル・ディスラプション時代における「リカレント教育」のあるべき姿とは?～」

○2020年 8月(オンラインセミナー)

「デジタルトランスフォーメーション～企業はいかにデジタル変革を行うか～」

○2021年 3月(オンラインセミナー) 「オンライン化する世界」

○2021年 8月(オンラインセミナー) 「コロナ後の不動産価値と経済・企業経営へのインパクト」

○2022年 1月(オンラインセミナー) 「2021年経済から見た今後の経済見通し」

○2022年 3月(オンラインセミナー) 「モビリティ革命～企業が大変革期を勝ち抜く条件～」

○2022年 5月(オンラインセミナー) 「第四の波(サイバー社会)に向けた国家戦略」

○2022年 8月(オンラインセミナー) 「シニアビジネスの発想法」

○2023年 1月(オンラインセミナー) <新春特別企画> 「世界の新潮流2022年」

○2023年 7月(オンラインセミナー) 「DX戦略の成功条件」

○2024年 1月(オンラインセミナー) <新春特別企画> 「世界新潮流2023年」

○2024年 7月(全国参加型ICTオンラインセミナー) 「AI経営の最前線」

○2025年 1月(全国参加型ICTオンラインセミナー) <新春特別企画> 「世界の潮流2024年」

4月は引継ぎ関係で在席しますが、5月以降は完全フリーです。何をやっていこうか、今からワクワクしています。同期よりは1年早いですが、「やりたいことは全てやれ」を太前塾長に学んでいますので、元気なうちにやり残しが残らないよう、悔いがないように過ごしていきます。ちなみに太前塾長は82歳の今でもバイクツーリング、ジェットスキーやスノーモービルなどをされていて、ほんとアクティブシニアです。いいお手本ですね。元気の素は、知的好奇心だと推察しています。

天気の良い日は畑仕事、釣り、山仕事、雨の日は読書(ネットも)とのんびりやっています。

また、ICT系の講演、講座もやっていこうと考えています。地域のICT化で何ができるのか、私にどんな貢献ができるのか、チャレンジしていこうとも考えています。

NTTグループで37年、ユーザ協会で9年という社会人生活46年で経験したことや学んだことを、次代を担う子供たちに伝えていくこともやっていきたいと考えています。人生に悔いがないように、愉しく、愉快地過ごしていきます。

講演等ご要望いただければ、オンラインでもリアルでもやりますので、よかったらお声かけください。最後にこれまで長い間お読みいただき、本当にありがとうございました。心から感謝いたします。

3/24(月) 締切!

2025年スタートダッシュICTセミナー デジタル化推進 ICT・AI活用促進のためのDXセミナー 2025年3月26日(水) 13:30▶15:50

2025年度を迎えるにあたりICTに関わる二人の講師から最新のお話を頂戴します。
これからDX、デジタル化に取り組む方、現在取り組んでいるが成果に至らないという方は是非参加ください。

【第1部 ～基調講演～】(60分)

「中小企業におけるDXの現在地とDX推進政策の概要」

講師：経済産業省 商務情報政策局 課長補佐 栗原涼介 氏

我が国の経済基盤を支える中小企業は、デジタル人材や情報、資金の不足などさまざまな問題に直面しており、DXの実現は道半ばである。

本講演では「DXとは何か」という点から、特に現在の中小企業におけるDXの取組状況や現状を踏まえ、経済産業省において取り組む「企業DX推進政策」の概要をそれぞれ解説する。



【第2部 ～特別講演～】(60分)

「AIが変えるDX ～中小企業の成長を支える新戦略」

講師：AIエンジニア/起業家 安野貴博 氏

講師プロフィール：安野 貴博 (あんのたかひろ)氏

「テクノロジーを通じて未来を描く」活動をしてきた34歳・無所属のAIエンジニア&起業家&SF作家。1990年、東京生まれ。東京都文京区育ち。

開成高校を卒業後、東京大学工学部システム創成学科へ進学。「AI戦略会議」で座長を務める松尾豊教授の研究室を卒業。外資系コンサルティング会社のボストン・コンサルティング・グループを経てAIスタートアップ企業を二社創業。デジタルを通じた社会システム変革に携わる。日本SF作家クラブ会員。

- デジタル庁デジタル法制ワーキンググループ構成員
- 英国王立美術院にて準修士
- ハヤカワSFコンテスト受賞



開催日時 2025年3月26日(水) 13:30～15:50

会場 オンライン

定員 1000名〔先着順〕

申込方法 3月24(月)までに右記QRコードまたは以下申込サイトからお申込みください。URL：<https://coubic.com/jtua-kinki/3209986>

参加費 無 料

聴講方法 「Zoom」にてライブ配信します。視聴URL等詳細は、1週間前、前日のリマインドメールにて登録いただいたメールアドレス宛にご案内致します。

お申込はこちらから



【問い合わせ先】各支部のホームページをご確認ください。電話 0120-20-6660 最寄りの支部につながります。